

(別表) 実施計画総括表 (単位:千円)

事業の種類	計画事業費			合計
	昭和47年度	昭和48年度	昭和49年度	
道の整備				
道路計画	78,968	77,807	83,803	232,578
防犯計画	18,158	24,529	26,706	70,370
小計	97,126	102,327	110,509	309,962
社会開発				
住宅計画	12,270	12,270		24,540
生涯学習推進計画	120,159	131,642	4,500	256,301
社会福祉計画	4,883	31,106	26,350	62,339
文教計画	11,328	1,450	17,060	29,838
小計	148,647	176,668	47,850	373,165
産業振興				
農業振興計画	55,340	184,340	190,730	430,410
林業振興計画	10,000	10,000	10,000	30,000
漁工振興計画	1,500	2,500	1,000	6,000
小計	66,840	197,840	201,730	466,410
行政				
行政計画	500	7,600	6,100	14,200
小計	500	7,600	6,100	14,200
合計	306,125	484,435	366,183	1,156,743

町の総合計画を決定

11月8日の審議会と町議会

十一月八日開催された「甘藷町総合計画審議会」で「町の総合計画」が決定し、町に告示されました。

町では即日町議会に上程し、議会の承認がなされましたので、正式に「総合計画」が決定されました。

長期間にわたる町の経営方針を定める

この「総合計画」は昨年の五月

から審議会が審議されておりました。

その後「区域市町村総合計画」その他の上位計画との調整をはかる関係から作業が遅れておりましたが、このほどその調整も終わり、住民の各種代表者四十八名からなる「総合計画審議会」で審議がなされ、そのうえで町に告示されたものです。そしてこの計画は、町の十年後の将来の振興発展を展望しての長期にわたる町の経営方針の根幹となるもので、町の総合的な発展計画に

なるわけです。

青空と緑を目標にする
調和ある産業を目標にする
豊かな教育文化

決定された「総合計画」は、「青空と緑にかこまれ健康と福祉と安全を守る町」「調和ある産業の発展と進歩する町」「豊かな教育文化を誇る町」を目標としておられます。

① 長期の構想の基本構想は、町の将来を大きく、② 中期的計画として基本計画と町の将来の目標と目標に到着するための施策を決定する。③ 短期的計画としての実施計画と基本計画の進捗を町財政のなかでいかに実施するかをあらわにする。という各項目から構成されております。

町づくりの向う
三年の
実施計画は……

町づくりに向う三年のプラン「甘藷町総合計画」に基づく第一年度の実施計画を、以下に紹介のとおりです。この計画は、毎年更新されつつ、向う二十年の総合計画を推進するための具体的な計画で、財政的裏付けをもって毎年度予算の基本となるべきものです。

町民企業意識の醸成、各種事業の経済的効果、福祉効果をはじめ住民の利便性、要求度、緊急性等を総合的に判断し、適確な財政計画の上に事業の進捗をはからなければなりません。それらの観点からみて別表のような事業計画にたつております。

基礎的条件的整備

区域整備計画や道路計画、防災計画からなり、開拓する本町の基本であり、知られた少ない面積にもかかわらず利用するが、これには区域整備の進捗が第一で、地域住民のみなさんの理解と協力こそ解決への鍵であります。道路計画では、舗装、改良、側りよ等の基幹道路等の整備、防犯計画では消防施設の整備や交通安全対策などがとりこまれています。

社会開発計画

快適で住みよい生活環境づくりということで、住宅計画、生活環境整備、社会福祉、文教等にあつておられます。具体的には町営住宅の建設、上水道整備、ごみ処理施設、し尿処理施設、公園の整備保育所、幼稚園の整備、児童遊園地、保健児童相談所、小中学校施設の整備などが予定されております。

産業振興計画

農業振興、林業振興、漁工振興からなっております。稲島、新田地区を対象とする第二次農業構造改革事業の推進をはじめ、農産物は総合的に判断し、適確な財政計画のととも、農道川排水路の改良などをめざし、生産性の向上につとめる計画です。